

## 垂井町立小中学校耐震化状況・学校別一覧表

学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であるとともに、災害発生時には、地域住民の避難所となるため、耐震化を進めることが極めて重要となります。

垂井町教育委員会では、平成11年度から耐震補強工事及び改修工事を実施してきました。

平成24年2月現在、校舎・体育館合わせて37棟のうち、耐震化が必要とされる建物が3棟あり、耐震化率は91.89%になります。

平成20年6月に地震防災対策特別措置法が改正され、学校施設の耐震化結果の公表が義務付けられました。

これを受けて、耐震診断結果及び耐震改修状況を以下のとおり公表します。

平成24年2月現在

学校名	校舎名	構造	階数	延べ床面積	建築年	改修年度	診断の有無	Is値及び優先度調査	耐震性の有無
垂井小学校	校舎北	R	3	1,590	S.46		○	0.82	有
	校舎南1	R	3	1,965	S.47	H21	○	0.81	有
	校舎南2	R	3	1,307	S.47	H21	○	0.805	有
	体育館	S	2	1,195	H.7	—	—	—	有
宮代小学校	校舎東	R	3	978	S.49	H11	○	0.84	有
	校舎中	R	3	1,134	S.54	H11	○	0.84	有
	校舎西	R	3	435	S.54	H12	○	0.84	有
	特教	R	3	949	S.54	H12	○	0.84	有
	体育館	S	2	1,132	S.54	H20	○	0.77	有
表佐小学校	校舎東	R	3	753	S.50	H17	○	0.83	有
	校舎中	R	3	2,112	S.57	H17	—	—	有
	校舎西	R	3	490	S.59	H17	—	—	有
	体育館	S	2	968	S.63	—	—	—	有
合原小学校	校舎	R	2	1,952	S.59	—	—	—	有
	体育館	S	1	688	S.59	—	—	—	有
府中小学校	校舎中・西	R	3	2,090	S.41	H22	○	0.82	有
	校舎東	R	3	2,026	S.55	H23	○	0.83	有
	体育館	S	2	1,166	H.4	—	—	—	有
岩手小学校	校舎西	R	3	1,566	S.53	H14	○	0.88	有
	校舎東	R	3	1,788	S.54	H15	○	0.90	有
	体育館	S	2	1,132	S.62	—	—	—	有
東小学校	校舎中	R	3	2,203	S.58	—	—	—	有
	校舎西	R	3	254	H.2	—	—	—	有
	校舎東	R	3	1,149	S.58	—	—	—	有
	体育館	S	2	1,168	S.58	—	—	—	有
不破中学校	校舎北西	R	3	2,605	H.7	—	—	—	有
	校舎北東	R	3	2,036	H.8	—	—	—	有
	校舎南東	R	3	1,790	S.53	—	○	0.58	無
	校舎南西	R	2	1,149	S.59	—	—	—	有
	格技場	S	1	462	S.52	—	○	0.73	有
	体育館	S	2	1,381	S.45	H2	○	0.54	無
北中学校	校舎東	R	4	490	S.50	H8	○	0.9	有
	校舎中東	R	4	1,563	S.51	H8	○	0.9	有
	校舎中西	R	4	975	S.51	H9	○	0.9	有
	校舎西	R	4	428	S.63	H9	○	—	有
	特別棟	S	1	342	S.51	—	○	優先度 4	—
	体育館	S	2	1,341	S.51	H19	○	0.86	有

1) Is値とは、「構造耐震指標」のことです。

※ 建物の構造的な耐震性能を評価する指標のことで、Is値の数値が大きいほど耐震性が高いこととなります。

2) Is値の目安(基準)は、以下のとおりです。

0.3未満	震度6強以上の地震に対して倒壊又は崩壊する危険性が高い。
0.3以上～0.6未満	震度6強以上の地震に対して倒壊又は崩壊する危険性がある。
0.6以上	震度6強以上の地震に対して倒壊又は崩壊する危険性が低い。

① Is値が0.6未満の建物については、法令により耐震改修を行う努力義務が課せられています。

② 学校施設については、児童生徒の安全性を考慮し、Is値0.6以上～0.7未満の建物についても耐震化の対象としています。